THE ROTARY CLUB OF TAKATSUKI　国際ロータリー　第２６６０地区

高槻ロータリークラブ
2022～2023
WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

Ⅰ真実かどうか

Ⅱみんなに公平か

Ⅲ好意と友情を深めるか

Ⅳみんなのためになるかどうか

事務所　〒569-1116　高槻市白梅町 4-1 高槻阪急 6 階
TEL　072-683-1158　　FAX　072-683-1174
URL　　http://www.takatsukirc.org/
E-mail　takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp

例会日　毎週水曜日　12:30～13:30
例会場　高槻阪急 6 階 多目的ホール　TEL　072-684-5379
創　立　1954 年 6 月 15 日
会長 石田佳弘　**幹事** 長山正剛　**クラブ運営委員長** 山室匡史　**会報担当副委員長** 松下浩章

No.8　　2022 年 8 月 31 日　発行

８月は会員増強・新クラブ結成推進月間

第 3286 回　本日（8/31）の例会

◎　ソング・・・手に手つないで
◎　地区大会実行委員会報告
◎　卓話　　江澤　由君
「　９中生２２０人で、
　　シャッター商店街に命を吹き込もう！　」
◎　例会前の行事
　地区大会実行委員会会議

第 3287 回　次週（9/7）の例会

ガバナー補佐訪問

◎　国歌・・・・君が代
◎　ソング・・・奉仕の理想
◎　誕生、結婚、入会記念月御祝
◎　創業記念月御祝
◎　卓話　　光本　智輝君
「　エッセンシャルワーカーという言葉
　　についての私見　」
◎　例会前の行事
　クラブ協議会
　９月度定例理事会
◎　例会後の行事
　地区大会実行委員会会議

先週（8/24）の例会から

◎ゲスト・ビジター　　計 0 名

◎出席報告

会員数	出席者数	出席
46　名	37　名	88.10　%
前々回例会補正後出席率　90.91　% 但し、　Mup　4　名　　欠席者　4　名 出席規定摘用免除有資格者　2　名		

R財団表彰

伊藤　智秋君
ベネファクター

◎会長の時間

福沢諭吉先生の言葉に、『天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず』という言葉があります。
それと同じように、ロータリーは、ロータリアンの上にロータリアンを造らず、ロータリアンの下にロータリアンを造らず、と言うことが言えると思うのであります。
このように、ロータリアンの世界は、完全に平等・対等の世界であります。
したがって、クラブ会長と一般会員との関係も平等・対等、会長と幹事の関係も、クラブ理事と一般会員との関係も全て平等・対等であります。
昨日入会した新入会員と25年在籍のパストガバナーの関係も平等・対等であります。
では、会長・幹事と地区ガバナーとはどのような関係にあるのかと言いますと、会長・幹事は、ロータリークラブという自治団体の代表者であり、ガバナーは、国際ロータリーという自治団体の代表者でありますから、お互いに平等・対等であります。
国際ロータリーの方がロータリークラブより地位が高いのではありません。
したがって、ガバナーの方が会長・幹事より偉いのでもありません。
ある地方に行きますと、ガバナーを天皇陛下のように思っている人がいますが、とんでもない間違いであります。

イマジンロータリー

ジェニファー・ジョーンズ　RI 会長

では、国際ロータリーの役員である地区ガバナーと一般会員とは、どのような関係にあるのかといいますと、直接的には何らの関係もありません。
国際ロータリーの会員は、全世界のロータリークラブであって、個々のロータリアン(一般会員)は、国際ロータリーの会員ではないからであります。
強いてどのような関係にあるかと言えば、ガバナーも一般会員もロータリアンとして平等・対等であります。
この理は、国際ロータリーの会長と一般会員との関係でも同じであります。全て平等対等であります。
また、ガバナーと地区委員との関係、地区委員と一般会員との関係も全て平等・対等であります。
このように、全てのロータリアンは、平等、対等でありますが、ただ一つ注意すべきことは『親しき仲にも礼儀あり』年長者に対する礼を失しではなりません。
以上を要するに、ロータリーの世界は、完全平等対等の横型社会であって、いささかなりとも縦型思考が入ってはならない世界なのであります。
平等対等なロータリーの世界にあって、ロータリアン同士が表彰し合ったり、褒め合ったりすることは、『下手な芝居は楽屋で褒める』というように、大変見苦しいものであります。
また、いかに社会的に地位が高くても、ロータリーの世界では平等・対等であります。
或る会員に栄誉を与えたり特別視したりすることは世俗の論理でありましてロータリーの為すべきことではありません。
よってロータリークラブではそのような事はしていません。
ロータリー賞とかはありますがロータリーの行動計画を支えたクラブを表彰するものであって個人を表彰するものではありません。
まぁしかしながら重要なポストに就かれる方はそれだけ経験を積んでこられた方がほとんどで、そういう方のご意見、ご指導はきちんと聞い方が間違いがないかと思います。
以上で会長の時間を終わらせて頂きます。

◎幹事報告

・以前皆様に会員入会の御祝金をお願い致しました。皆様のご協力をもって新入会員の皆さんへ、クラブジャケットが出来上がってまいりました。改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。外窪さん、守田さん、来村さん、井上さん、事務局にてお渡ししますので、ご都合の良い時にお立ち寄りください。

◎委員会報告

○地区大会実行委員会　　大木　城司

・現在ガバナー公式訪問の際に、地区幹事団の皆様が地区大会 PR 活動をして下さっていますが、それでは地区大会の申込期日までにすべてのクラブを回り切れませんので、地区大会のホストである高槻 RC も地区大会の PR 活動をしなければなりません。その日程表を作成致しました。全 22 クラブを訪問しなくてはいけませんので、PR 活動にご協力頂ける日程の番号を回覧へご記入お願い致します。ご記入いただいた日程は、どなたにどのクラブに訪問して頂くかを決める参考とさせて頂きます。振分けに困難しておりますので、多数の皆様のご協力をお願い致します。

○青少年奉仕委員会　　篠原　光子

・地区青少年交換委員会より「青少年交換プログラム 2022-23年度（2023-24年度派遣）学生募集のご案内」と「ホストファミリー・バンク登録へのお誘い」が届いております。会員各位へ本日8/24(水)にメール又はFAX致します。申込を希望される方は、事務局までご連絡いただきますようお願い致します。

○国際奉仕委員会　　小阪　大輔

・GPFR日本支部より「第20回記念ロータリー全国囲碁大会のご案内」が届いております。参加を希望される方は10/26(火)までに事務局へお申込下さい。宜しくお願い致します。

【日　時】2022年11月5日(土)登録受付9：30
　　開会式10：00　表彰式・記念撮影16：00
【場　所】東京・市ヶ谷の日本棋院本院1階対局室
【参加料】7,000（昼食代・賞品代等含む）
【主　催】ロータリー囲碁同好会
【共　催】第2580・2750地区
【ﾎｽﾄｸﾗﾌﾞ】東京RC

◎浦中会員より

・安満遺跡青銅祭のチラシと協賛のお願いを8/17(水)先週の例会にて会員の皆様へお配りし、先週例会をお休みされていた皆様には本日お配りしております。安満遺跡青銅祭は今年度で10回目を迎えます。小さなお子様から大人の方まで楽しんで頂けるような秋のお祭りになるよう、高槻のいにしえの祭りという気持ちを持って、約30名の実行委員会メンバー皆で頑張っております。「卑弥呼のコスプレグランプリ」は昨年初めて開催致しましたが大変好評でした。今年度も開催致しますので、皆様も是非コスプレして参加して頂けたらと思います。また、協賛にご賛同いただけましたら、温かいご支援を頂ければと思います。11月6日(日)安満遺跡公園桜広場での開催となります。ご家族やお友達など皆様お誘い合わせの上ご参加下さい。宜しくお願い致します。

◎卓話　　「私の履歴書」　　外窪　明美

この度、松下建設 松下社長さまのご紹介で入会させていただきました外窪明美と申します。今日は貴重なお時間を頂戴しお話をさせていただく機会をいただきありがとうございます。ちなみに松下社長の息子さんと私の息子が同級生だったり、現在は島本町の地域再生プロジェクトでご一緒させていただいてるというご縁でお声をかけていただきました。

まずは簡単に自己紹介からさせていただきます。私は 1965 年 9 月 24 日生まれで現在 56 歳。来月には 57 歳になります。住まいは高槻と京都の間、島本町で在住 15 年です。仕事は CocomiDesign という屋号で個人事業主です。イベント主催や営業代行、ＳＮＳ運営代行など、笑顔を繋げるマッチングデザイナーとして、人と人・物・場所をつなぐサポートをさせていただいてます。地元、島本町でフリーペーパー『しまっち』を発行していましたが、コロナ禍が続き昨年の 5 月から休刊しております。現在の主な仕事は音楽事務所のサポート業務ですが詳しくは最後にお伝えします。家族構成は、主人・息子・母の 4 人ですが息子は京都で一人暮らしをしています。趣味はプロレス観戦で新日の試合がある日はビールを飲みながら楽しんでます。

そんな私ですが、「私の履歴書」ということで今回、久しぶりに私の人生を振り返りました。今どきは5年ひと昔と言われたりもしますが、10 年ずつ区切ってその間にあった出来事を思いつくまま書き出してみました。それぞれの 10 年には良いことも悪いことも色々あって、こんなに経験してきたんだなぁ…とあらためて思い返しました。

・10 代後半　病気により生死を彷徨ったこと
・20 代前半　体重が 70kg 近くあったけど 20 kgのダイエットに成功したこと
・30 代半ば　壮絶な結婚生活のこと
・40 代後半　人との出会いが大きな転機となったこと
・50 代前半　車椅子をカンボジアに送る取り組みが１回で止まってること

など、他にも色々ありましたが、今日は私の人となりを知っていただけたらと思います。

私は大阪府堺市で外窪家の長女として生まれました。3 歳の時に守口市に引越しをし、すぐに弟が生まれ 4 人家族となりました。昔ながらの長屋住まいで近所中がみんな仲良く家族みたいで、お風呂は銭湯へ行くという昭和どっぷりな生活環境の中で育ちました。長屋は古く、夜中になるとネズミが大運動会を始める音に、とても怖かったのを覚えています。私は父のことが大好きでトラックの運転手だった父の助手席に乗り、仕事にもついていくほどでした。母は家で内職をしていましたので家にいつもいてくれたお陰で淋しいと思ったことはありませんでした。

小学 2 年生の時、同じ町内に新しくできた府営団地が当たり引っ越しをしました。新築の家に初めて住み、しかも 10 階という眺めの良さや家にお風呂があるということがとても嬉しかったです。その年、家から車で 30 分くらいの場所にある市場内のテナントで父が天ぷらフライのお店を始めました。母も手伝うようになり、弟はお店から近い幼稚園に通うことになったのでそれから私は完全に鍵っ子となりました。家では一人でしたが、お陰さまで友達も多く、そろばんやピアノなどの習い事や塾に行くなど、自分でスケジュール管理をするという意味では自立の練習ができたのではないでしょうか。

小学校から高校卒業するまで地元の公立学校に通いました。高校生で初めてしたバイトがひらパーの中のレストランフロア係でした。私は『人』が好きだったのでそれから一貫して現在まで変わらなかったのは『人と関わる仕事』をすると決めていたことです。高校卒業後は旅行・観光の専門学校に行きましたが、卒業間近に原因不明の病気になり、生死を彷徨ったのはこの時で、学校もやむなく中退しました。無事、病気を克服した 2 年後に某大手旅行会社に就職しバブル期をこれでもかというくらい楽しく過ごしました。

次に、結婚の話になりますが、実は私、2 回離婚し、今が 3 回目の結婚です。×（バツ)2 ではなく、○（マル）2 です。1 度目は 27 歳の時、超ハデ婚をし高槻の野田で新婚生活をスタートさせ 2 年後に伊丹市に引っ越しました。その半年後、1995 年阪神淡路大震災に遭いました。経験したことのない震災に精神的ダメージがあまりにも大きく、心身ともに不安定になり結婚生活の継続が困難になり離婚しました。いわゆる震災離婚です。幸か不幸か、子どもがいなかったので離婚成立までに時間はかかりませんでした。

2 度目は 32 歳の時に入籍し、翌年には最愛の息子が生まれました。毎日が幸せでしたが息子が 2 歳頃から旦那さんの素行が少しづつ悪くなってきまして、働かない、女をつくる、借金、家に帰らない・・・などＤＶがなかっただけでもマシだったかなと若干麻陣してますが、生活が苦しく、当時は小さな息子がいると働けない自分が情けなかったです。近くに住んでいた実家の両親を心配させたくなくて何も話せずごまかしていましたが、数ケ月に 1 度は電気が止まるという状況に 2 年我慢しましたが、このままではあかん！と両親に全てを話したところ何も言わずに優しく私と息子を受け入れてくれました。30 代は激動すぎて私の人生の中でもどん底で、人を妬み、相手を恨み、自分を繕い、心が笑えない毎日の繰り返しで、息子を道連れに何度死んでしまおうかと思ったかわからないくらいです。離婚後も親権問題とかあったのですが、それも無事に解決し、息子を両親や保育園に預けることができ、私はご葬儀の祭壇生花装飾の仕事に着き、ひたすら一生懸命働きました。

3 度目は 40 歳の時、息子が小学校へ入学するのを機に、祭壇装飾の職場で出会った主人と入籍しました。私は当然、主人の苗字になるつもりだったんですが、息子にとっては 3 つ目の苗字になります。主人は親の都合で 3 回も違う苗字になるのはかわいそうだから自分が外窪の苗字になると言い、養子に入ってくれました。主人は初婚、私は〇2 の子連れで年上、それをすんなり認めてくれた主人のご両親には本当に感謝しましたし、今でも感謝しています。

今まで色々な仕事をしてきましたが 2004 年、介護の資格を取り、寝屋川の社会福祉法人で 2004 年から 2007 年の 3 年間は訪問介護事業所の介護事務と介護職員として、更に 2012 年から 2018 年 10 月までの 6 年間は住宅型有料老人ホームの立ち上げから施設長として色々な経験をさせていただきました。当時、法人理事長は寝屋川青年会議所（JCI）の第 39 代理事長を務めており、ＪＣ仕込みのどんな時でも「はい か イエス」を横で見ていましたし、飲み会やいろんな業界の方が集まる会に同行し、たくさんの人に会わせていただき、頼まれごとにはすぐ動くフットワークの軽さと、できない事よりできる方法を考える事を全て学ばせていただきました。施設の空室を埋めるため、本当は営業が大嫌いだった私が営業ができる力をつけたり、経営に関する数字の見方、スタッフさんの上に立つリーダーの在り方を教えてもらったり、何より、介護のご利用者様やご家族様に寄り添いお話を聴くということで、一番大切な聴く力をつけさせていただきました。

法人からの研修という形で 2014 年 4 月から月に 1 回、半年間、メンタルコーチ筒井正浩さんが塾長の愛と感謝がテーマの「アニキ塾」で学び、そこで全国に仲間ができました。これをきっかけに私の好きな『人』という財産がどんどんと増え始め、そして人と繋がることで笑顔が増えていきました。その中でも私に生きる力をくれた人、シンガーソングライター森源太さんとの出会いは大きな転機となり生きることがとても楽になりました。

息子が高校1年生の時、一緒に源太さんのトークライブに参加しました。辛い過去を引きずり、いつも世間体を気にしながら子どもをしっかりとした子に育てなければという思いで踏ん張ってきた私に聞こえてきたこの言葉。

『子どもの人生は子どものもの。子どもの人生は親のものじゃなかけんね。』『自分の人生は自分で決めてよ

かけん。』そして、『そんまんまのあなたでよかよ。全部、大丈夫やけん。今、ここからでも大丈夫。』
『いつからでも大丈夫。一歩ば踏み出せるけん。』私は全身の力が抜けると同時に号泣していました。全身に雷が落ちるような衝撃も受けました。その日から私は子どもの人生の応援者に変わりました。そして私は私の人生を生きていこうと決めました。

私は現在、森源太さんのサポートを主な仕事にしています。源太さんは、音楽活動だけではなく、学校講演で全国の小中高を訪問し子どもたちのためにお話をしたり、企業さまでの講演活動をしています。また、社会貢献としてはチーム源というボランティア団体を立ち上げ災害復旧支援活動をしています。ここ数年のコロナ禍で本業のライブイベントや学校講演ができなくなる中、毎年起こる水害などの復旧支援活動は続けています。私は講演会をしてくださる学校や企業を求め営業活動をしたり、ライブの集客、配信サポートなどの仕事をしています。私自身も源太さんのライブ主催を今まで7回ほど開催しました。が、仕事が無ければ私にも収入が無く現状は厳しい状況です。

私が生きる力をもらい前へ進むことができたように、たくさんの人に森源太を知ってもらい誰かの何かのきっかけになればとの想いで動いています。過去に経験した良いことも悪いことも今となっては全て「良い経験」となっていますし、そう思えます。辛くて悲しいことも良い経験になりますし笑い話にさえなります。そうやって私は強くなってきました。だからこそ何があっても『今、ここからでも大丈夫』って思えますし、今、いろんな思いを抱えてらっしやる方がいたらその人のために心からそのことを伝えたいです。

ここまで、まとまりのない話を聞いてくださってありがとうございます。新しく出逢ってくださった皆さまには心から感謝申し上げます。ここにいらっしゃる皆さまのように、私には地位も名誉もお金もありません。が、強さと明るさだけはあります！1 日でも長く続けられるよう在籍中は一生懸命、取り組ませていただきますのでどうぞ今後ともよろしくお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

◎8/24 卓上花

スプレーカーネーション（ピンク）
‥‥ 強い愛情
スプレーカーネーション（紫）
‥‥ 神秘
スプレーカーネーション（オレンジ）
‥‥ あなたを熱愛します
カスミソウ
‥‥ 親切

◎卓話　「私の履歴書」　井上　隆昭

大特鉱業の井上隆昭と申します。この度、松下さん、飯田さんに推薦して頂き、高槻ロータリークラブに 7 月より入会をさせて頂きました。初回のオリエンテーションでロータリークラブについての説明をして頂いて伝統と歴史を学び、光栄な想いと、いい加減な事が出来ないというプレッシャーから不安でいっぱいで、2 カ月近く経ちましたが、未だに緊張しております。本日は「私の履歴書」という内容で、貴重なお時間を頂戴しまして、ありがとうございます。人前で発表する事は大学の卒論発表以来約 20 年ぶりとブランクがあり慣れていないため、お聞き苦しい点もあるかと思いますが、宜しくお願い致します。

さて、私の履歴書ですが、① 私の家族のご紹介、② 私の生い立ち、③ 社会人になってからの私 の 3 部に分けてお話をさせて頂きます。

まず、① 私の家族のご紹介について、お話をさせて頂きます。
私は昭和 56 年に高槻市で 3 人兄弟の長男として生まれ、現在 40 歳、もうすぐ誕生日ですのでまもなく 41 歳の本厄年真っ只中でございます。兄弟は、2 歳年下の弟、9 歳年下の妹が居ております。私が 3 歳までは安岡寺町、その後日吉台六番町に住んでおりました。
父は岡山県苫田郡鏡野町、ウラン鉱脈のある人形峠のすぐ近くの出身で、父の姉、私の叔母が高槻で飲食店をやっていたので高校を卒業したらそのつてで高槻に出て、叔母の飲食店を手伝いながら大型二種免許を取得、高槻市バスの運転手をしておりました。私の叔母は「つきの井」をやっております。次に、母は高槻市出身で、「名神自工」の大久保さんと従兄弟の関係にあります。両親共に高槻に縁があり、私はずっと高槻で育ってきました。なお、私の父が務めております「大特鉱業」は母方の祖父が立ち上げた会社で、母と結婚するタイミングで、高槻市バスを退社し、大特鉱業に入社し、今は 2 代目社長をしております。

次に、② 私の生い立ちについて、お話させて頂きます。
昭和 56 年 9 月 13 日、高槻病院にて生まれました。
生まれた時から体が大きく、お世話するのが大変で、父はぎっくり腰になった事もあったようでした。
幼少期は喘息持ちで、よく発作が出てましたので、高槻病院によく通っていました。

幼稚園は日吉幼稚園に年中から入園しました。日吉幼稚園は真夏の暑い時期、真冬の寒い時期、雨や雪が降っても外遊びがあり、この 2 年間で体が鍛えられ、幼稚園を卒園する頃には、喘息の発作もほとんど出なくなってました。
また近所のお兄さんに毎日外でドッジボールやサッカー、自転車の練習など付き合って頂き、毎日暗くなるまで外遊びをしてました。余談ですが、一年中外遊びをしておりましたので、当時は日焼けで近所でも一番の色黒さでした。

小学校は日吉台小学校に通っておりました。小学校時代も、勉強より体を動かす方が好きで、放課後は毎日友達と暗くなるまで、野球やサッカー、ドッジボールなどをして遊んでいました。当時は公園や道路などでボール遊びが許された時代で、今から思えばいい時代だったなと思います。

余談ですが、小学生の頃から体が大きく太っており、体重は常に学年 1 位でした。
なお、関ジャニの村上君とは同級生で、小学 3・4 年生の時に同じクラスになりましたが、当時は目立たない地味な感じでしたので、テレビで司会など活躍しているのを見ると、とても努力しているのが伝わり、今ではすっかりファンになりました。

中学校は芝谷中学校に通っていました。中学生時代はバレーボール部に入部し、放課後や休日は毎日バレーボールの練習をしておりました。当時から男子のバレーボールはあまり人気なく、他の中学校もどんどん廃部になっていき、芝谷中学校も私が卒業すると同時に廃部になってしまいました。
なお、中学生時代も更に体が大きくなり、毎日運動しておりましたが量を食べるのか、体重は常に学年でトップ争いをしておりました。

高校は大阪青陵高校に通っていました。大阪青陵高校は部活に全く力を入れてなく、ほとんど部活が無かった為に、帰宅部になり、友達と部屋でゲームしたり漫画を読んだりと、インドアな生活になりました。ただ、大阪青陵高校は大学受験に力を入れており、勉強する様になりましたが、特に化学が面白く感じ、大学進学に大きな影響を与えました。

大学は近畿大学理工学部応用化学課に入学しました。高校時代に化学に興味を持ちこの学部を選びましたが、近大はこの当時から化学に力を入れており、学部生では中々触らせてもらえない様な非常に危険な試薬や、非常に高価な分析装置などを普通に使い実験した事はいい経験になりました。
大学での部活ですが、元々モータースポーツに興味がありましたので自動車部に入部しました。エンジンやミッションの載せ替え、クラッチ交感など普通では中々できない整備をしたり、ジムカーナやダートトライアルといった決められたコースのタイムアタックといった試合に参加したり、その為の練習で夜な夜な箕面や阪奈道路といった山道に友達と走りに行ったりと、とても貴重な経験をさせて頂きました。自動車部ではお金がかかりましたので、大学時代はずっと「つきの井」でアルバイトしておりましたので、もしかしたら皆様とすれ違っていたかも知れません。
大学時代は、勉強に部活にアルバイトと、とても充実した日々を送りました。
子供の頃から、社会人になったら、大特鉱業を継ぐつもりでしたので、大学生まで好きな事をさせて頂いた両親に感謝です。ただ、会社に入る準備としまして、大学生の時に大型トラックの免許は取りに行きました。

次に、③ 社会人になってからの私、をお話させて頂きます。
まずは、「大特鉱業」の会社説明を簡単にさせて頂きます。私の母方の祖父が昭和 24 年に個人商店を設立しました。当時は戦後間もない頃で全ての物が不足している中、これからの鉄鋼業界の伸びを感じて、国内の生産者から国内の製鉄所へ様々な商品を納入するお手伝いをしておりました。その様な状況の中、製鉄所が鉄を生産する際、鉄鉱石や鉄屑をベースに、マンガンやクロムといったレアメタルを添加しているのですが、鉄に溶けやすくする為に、マンガンと鉄、クロムと鉄といった合金を使用しており、それらを国内の生産者から分けてもらって、ジャストインタイムで製鉄所に納入するという今のビジネスが出来上がりました。その後昭和 31 年に会社法人として「大特鉱業」を設立、その後為替の円高や国内のコストアップなどで輸入品の流通が増えだした事によって、「大特鉱業」は国内の納入のお手伝いから、客先のニーズに応える為の加工作業、輸入のリードタイムの長さから国内で在庫を持つ保管業務、また海外から直接契約・輸入、など仕事の幅を広げ、現在に至ります。

私が会社に入社した時に、営業で入社しましたが、全ての仕事が出来るように会社の内容を把握する必要があると言われました。
まず、商品と客先を覚える為に、まずは倉庫で加工業務をしておりました。石ころの様な形状の商品を、20 kg の小袋に詰めてパレットに並べていく作業、粉砕やフルイ分けをして 1t 単位で袋に詰めていく作業など、力仕事を粉塵にまみれながら真っ黒になって作業をしておりました。なお、この作業に必要な、フォークリフトとショベルローダーの免許、大型特殊の免許は入社してすぐに取りに行きました。
その仕事が慣れて覚えてくると次は、トラック（4t トラックや 10t ダンプ）に乗って、各客先へ納品に行きました。それぞれ客先によって納入時のルールが独自に決められていましたが、それをマニュアル化し、新たに運転手を雇う際の研修資料をして活用しております。
加工・納品業務を覚えると、現場から事務所に異動し、いよいよ営業の仕事が始まりました。営業では、扱っている商品に海外相場がある市況品であったり、輸入品なので為替の影響を受けたりと、昨日と今日で価格が違う事がざらにありますので、とまどったり失敗して怒られたり、逆にお客様から感謝されたりと、様々な経験を積みました。また、仕入先のほとんどが海外の為、買い付け交渉や商品の検品、新規の仕入先の開拓など、中国・ロシア・ウクライナ・ベトナム・カザフスタンといった国への出張も行き、日本の常識が全く通用せず苦労しながらも、現地の文化や食事などたくさんの事を学び、やりがいを感じながら、今に至っております。

入社してすぐ、仕事柄英語が必要なのですが、ほとんど英語の勉強、特に英会話をして来なかった為、英会話スクール「ノバ」に、仕事終わりに通いました。そんな中、ノバに 2 週間の短期海外留学があり、私は海外慣れする為や良い出会いがあればと思い、2005 年の 2 月にカナダ・ホワイトホースというバンクーバーから飛行機で 2 時間程北に上がった所の町へ短期留学に、会社を休んで行きました。ホワイトホースには、真冬に行った事もありとても寒かったですが、オーロラが見えたり、犬ぞりを経験したり（この当時は体重がピークで 98kg もあり、犬が可哀そうでした）、－ 20 ℃以下の気温を経験したりと、カナダの大自然を感じ、とても貴重な経験をさせて頂きました。短期留学には、日本人が総勢 10 名と少人数で、みんな海外経験がほとんど無く、私以外は皆学生で不安な状況もあった事から、とても仲良くなり、この内の数名は今でも仲良く連絡を取り合ったりしています。

私と妻の馴れ初めですが、2007年にカナダに行った友人の内の1人、当時は千葉で看護学校に通ってましたが、そのクラスメートが関西の人と知り合いたいと言ってるけどどう？ と話がありましたので、紹介してもらいました。そのクラスメートが私の妻です。お互い忙しかった事もあり、一年間はメールでの連絡のやり取りをしていました。いわゆるメル友です。2008年になり看護学校を卒業する前に、卒業旅行で関西に来ましたので、少し時間を取ってもらって、メールを初めてから一年越しに会いました。それから話はトントン拍子に進み、2008年5月から付き合い初め、大阪と千葉との遠距離恋愛でし

たが、毎週末千葉に通ってました。新幹線は最終が早いので車で通っていました。その後 8 月には妊娠が発覚し、10 月に入籍、12 月に結婚式、翌年 2009 年 4 月には長女が生まれ、付き合ってから 1 年間に様々な事がありました。ただ、妊娠が発覚した時、その時は妻はまだ 21 歳、専門学校を卒業して病院で働きだして半年足らずもあり、初めて義理の両親に挨拶に行った時、人生で一番緊張し、それを超える緊張は今も経験が無いです。無事に結婚を認めて頂き、今では良い思い出話になっております。結婚は順番が大事だと、改めて思いました。

それから、2011 年に次女が生まれ、2015 年に長男が生まれ、今では 5 人家族になりました。

2011 年転機が訪れました。それは、会社で取引のあるメイン銀行から、銀行が開催している青年経営者向けセミナーのお誘いです。私はこの様な勉強会は初めてでしたので、良い出会いもあると思い、2 つ返事で参加する返事を致しました。このセミナーでは、同じような悩みを抱えている方や、問題を乗り越えてアドバイスを貰える方、小学校・中学校・高校・大学の先輩など、様々な方々との出会いがありました。その中のお一人が守田さんです。守田さんは小学校・中学校の先輩で、私が幼稚園の頃よく遊んでもらっていたご近所のお兄さんのお友達だった事を聞き、大変驚いたのと、不思議な縁を感じました。また、守田さんを通じて、松下さんとも知り合い、2016 年に勉強会でのゴルフコンペを高槻で行う際、お店探しなどお力を貸して頂きました。その時に私は地元に住んでいながら、高槻の事を何も知らないと、改めて認識致しました。

それ以降、地元高槻の為に何かお手伝いをしたいという思いを、松下さんにさせて頂いたところ、ロータリークラブのご紹介を頂きました。

最後に、私は、生まれてから高校まではずっと高槻、大学は東大阪の学校ですが高槻から通い、結婚した当初の 3 年間だけ会社に近い大阪市西淀川区に住んでおりましたが、子供が幼稚園に入る前の 2011 年に高槻に戻ってきました。高槻歴は長いのですが、地元の事は何もわかりません。ロータリークラブもまだ右も左も分からない状態でご迷惑をおかけする事があると思います。ロータリークラブの事や高槻の事、など色々と教えて頂きたく、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。

◎ニコニコ箱報告

・皆出席内祝　　**西田君**(ありがとうご座居ました)
　　丹野君(ありがとうございました)

・本日は卓話を聞いてくださりありがとうございました。ジャケットをいただきありがとうございます。
外窪君

・卓話を聞いて頂きありがとうございます。また、ジャケットをありがとうございます。ジャケットに合う体系を維持します。　**井上君**

・ジャケットありがとうございます。大切に致します。先日卓話聞いて下さりありがとうございました。
来村君

・外窪さん、井上さん、私の履歴書良かったです。
松下君

・ジャケットありがとうございました。LINE の QR が週報に載ってます。是非追加下さい。　**守田君**

本日の合計	￥	50,000-
7/1 よりの累計	￥	448,000-

◎R 財団への寄付（年次）

河合　一人君 ￥10,000-　西田　直弘君 ￥ 5,000-
丹野　　亮君 ￥ 5,000-

本日の合計	￥	20,000-
7/1 よりの累計	￥	190,000-
一人当たり平均		$33.26

◎R 財団への寄付（ポリオ）

本日の合計	￥	0-
7/1 よりの累計	￥	33,000-
一人当たり平均		$5.78

◎米山奨学会への寄付

本日の合計	￥	0-
7/1 よりの累計	￥	175,000-
会員より	￥	70,000-
ｸﾗﾌﾞより	￥	105,000-
一人当たり平均	￥	4,167-

◎青少年育成基金への寄付

松下　浩章 ￥ 5,000-

本日の合計	￥	5,000-
7/1 よりの累計	￥	20,000-